

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科			環境学	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名			環境学	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15
対 象 学 年			1学年	学期及び曜時限	前期	教室名	1年生の教室及び実習室
担 当 教 員			西本 厚栄	実務経験とその関連資格	教育学修士 看護師・看護専任教員 中学校・高等学校教員資格(社会)		
《科目目標》 1.人間にとっての環境と健康の関係を理解する (知識・技術) 2.多様な環境と人間等の相互作用を理解する (知識・技術)(思考・判断・表現) 3.人間の健康に影響を及ぼす環境調整の必要性を考え、実践に移せる能力を身につける。							
《成績評価の方法と基準》 【評価方法】終講試験(レポート)(50%) 課題・授業態度/課題(50%)で総合的に評価する。 【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満する。							
《参考図書》 フロレンス・ナイチンゲール(著) 湯楨 ます他 看護覚え書ー看護であること看護でないこと 看護学概論 参考文献は自ら検索する							
《授業外における学習方法・学習上の留意点》 ・課題で評価することが多いので、各課題は事前に取り組み授業で取り組む。 ・グループでまとめることが多いので自ら積極的・主体的に臨む。							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	人間にとっての環境の意味を理解し、健康的な生活環境を整えるための知識を習得する			看護学概論 看護覚え書 講義資料	予習課題を完了のこと
		各コマにおける授業予定	環境の意義 ナイチンゲールの看護覚え書から看護およびその環境について理解を深める 自分のおかれている環境とその関係を考え、表現できる				
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	人間における環境での健康への影響を理解することができる			講義資料 自分での調査資料	第1回目の課題を完成して授業に望む 課題を完了する
		各コマにおける授業予定	自然環境、社会環境と健康要因との相互作用				
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	病床における環境を理解することができる			講義資料 自分での調査資料	予習/復習 課題を完了のこと
		各コマにおける授業予定	基礎実習でみた対象の環境を考える				
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	SDGSの意味を理解する SDGSの背景を知り、取り組みの必要性を理解する			講義資料 自分での調査資料	予習/復習 課題を完了のこと
		各コマにおける授業予定	SDGSについて理解できるよう講義を実施 グループSDGSの取り組み評価表の説明と理解				
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	7回で発表するための資料を検討と作成できる			講義資料 自分での調査資料	夏季休暇中にグループで相談してh 発表内容を整理して 終えていく事
		各コマにおける授業予定	グループでの発表準備 資料作成(PPTと講義資料) 各メンバーでの役割の相談				
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	7回で発表するための資料を検討と作成できる			講義資料 自分の発表資料 評価(ルーブリック)表	各グループでPPTと資料を作成し、発表 できる準備をしておく
		各コマにおける授業予定	グループでの発表準備 資料作成(PPTと講義資料) 各メンバーでの役割の相談				
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	SDGSを理解し、看護師になるものとしての取り組みを考え他者に発表できる			講義資料 自分の発表資料 評価(ルーブリック)表	各グループでPPTと資料を作成し、発表 できる準備をしておく
		各コマにおける授業予定	事前に準備したグループの課題を発表予定 発表を聞く側はそれぞれの内容へ質疑し、深め評価する				
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標					
		各コマにおける授業予定	終講試験				